



明 凡生  
3771  
4

京羽二重卷四目錄

名池

名滝

名橋

名木

名山

峯

坂

里

野

尾

三大橋

又三昧

八景

十境

名水

名井

名石

名家

名川

谷

畷

森

原

崎

田

五岳

七瀬

十景  
十二景

昭 二六  
二八十三  
日 別  
改

京羽二重巻四

名池

神龍池

洛南西面八条大通  
寺に在りて  
六條宮御所

此池のありまをわづらひて六條宮八  
尺の池と他して池と入るなり  
これよりして神龍池と名づく

を奮然と見くもり又けり  
野池とも名づく乃ち又池と云

安古世之池

禁裏の傍にあり  
や三休乃ちあり

旱魃もいけりありて  
け池よも神と云り或年け池

と云ふとせり乃ち大師割廊の  
池に在りて

賢庭と云ふ池は神史して又

桑下寺町 聖壽寺と云ふ

寺附と云ふに今も有るなり

法成池の池

二条の南太夫のあり  
神泉苑の池を云り

いけへち天子御遊ばしに池に在り

空海雨乞のありて天皇御執地

に若女龍王と此池に勧請あり

御菩薩池

法成池のありて  
御菩薩池

一不におかみなりて御菩薩池

此池の面を現しなりはゆへ

池のありて

廣澤池

鴨籠山の麓にあり  
月乃ちありて

古寺なりて多し別名ありて池に在り

大澤乃池

暖帳大覺寺に在り  
池本高くありて

こもりはせ傍御奇小大池の  
比れもきこぬきゆりこ  
こく清ら秋の月の

八家論池

帯聚の池

あふり  
あふり昔は池よりありて  
ぬく池れき常は化してをえり

月見の池

あふり  
あふり昔は池よりありて  
ぬく池れき常は化してをえり

並乃池

御池

あふり  
あふり昔は池よりありて  
ぬく池れき常は化してをえり

の水きいんえとく清らなりて  
れ人汲いとかり

名泉

明星水

あふり  
あふり昔は池よりありて  
ぬく池れき常は化してをえり

智辨水

あふり  
あふり昔は池よりありて  
ぬく池れき常は化してをえり

岩清水

あふり  
あふり昔は池よりありて  
ぬく池れき常は化してをえり

病とのろくこもやひははえ  
ゆり

香水

岩屋山不動尊の  
堂には数尊あり偏お

紅清水

すまの清水也諸病に夏強なり  
下関天社の傍  
より出る清泉水なり

六月廿一日丹波で清人此  
夏より下清水に侵りしぬ  
夏より下清水に侵りしぬ

葉師清水

極小路あり朱蒼なり  
丹波の葉師といふ

清盛入道熱病よこされ  
水に浸りて身を清くする

なりぬば水に浸りて身を清くする

紫雲水

ひがし山智光院のつ  
めりし水なり

手洗泉

鳥丸通四谷傍のつ  
りし水なり

あり毎の祇園神のつりし水なり

養生水

八条通のつりし水なり

通心院のつりし水なり

弁慶水

比叡山のつりし水なり

勝清水

中山寂光院のつりし水なり

師のつりし水なり

瀬井清水

西山大匠のつりし水なり

大なるつりし水なり

あつたつりし水なり

醒井水

醒井通五条下のつりし水なり

柳の水

西園院三条下町  
水一鐵田入帯

真北河やまはく井の水外  
水一勝りつ井の煙水柳  
と極へとまはく井の水

鳥の水

清水の金廊乃木  
水一洗水也石柳乃

吉水

九山安養養まはく  
慈法和尚乃古井

清水

下長者町乃川画  
田所同いめ圓白秀

清

吉云而柔の水一汲せ  
太系西乃出に惟ま

俄天皇は清水とゆとせ  
水一洗水也石柳乃  
水一洗水也石柳乃  
水一洗水也石柳乃

洗揚水

栗田口乃東乃れつこ  
りつかり

仙人水

暖家の中洗つる水  
人家の傍にあり

名水

音羽水

此水日々二水あり  
比敷山科清水

香井水

小山大なる里あり  
掘井れえの清れ水

山と通融通寺のみ  
山道三四町もあはく

新瀨水

暖家ありし水あり  
子飲たうり金葉集

く後成てをせよわり  
わたり

お大井川に下つる木の葉の  
清流の下にあり異  
龍の湯 國に於門ふゆる水

あつて云ふまうせうくわげり  
駒の瀧 此處空山入下麻谷  
此十町余くわり上れ

ふとつゆ  
不動の湯 岩屋山也此湯におお  
ぬきおわの怪氣  
諸病にもに平金してき瑞雲  
瀧れあつてにきまわ

岩井

落星井 此處は輪もれ  
つたわ井上り小社  
きまわり釈道昌法師  
此の山に天と星天降り  
あひして名付

女将井 此陽く寸九ニ冬上所  
上ありき祇屋の口  
流水よ此井乃あつて  
け下り流るる乃極下り

いし井 乃内きい  
あつていし井れゆ  
あつていし井れゆ  
依見とこまあつる  
諸のこつ町の中

常盤井 船是山乃あつて  
とまわり  
下りていし井れゆ  
下りていし井れゆ

多井 山科道乃あつて  
兼師院  
ひつて山東御寺乃  
地内ふ有

耳露井

菊水井 ひやう山下河原通  
のやういふ名

### 名橋

鶴の橋 市地通鳥丸入  
町小溝のこゝにあり

小石橋 也あまきと人まきい  
らふまきりとういふ名あり

真の橋 東山清水もみ藤原  
年坂の下にあり

浄土橋 東山新黒谷に堂あり  
辰也むしう熊若

蓮生法師う切れて掛かるこ  
えといふ名にして下蓮池也

サの橋 小山大系徳記の法院  
提井井美の茶屋

とせり小橋あり候は罪惡の

人此うとゆふと云

次々弾橋 山城西乃是久世  
ありやあり一葉おき

飛葉一流形乃付けくは  
いふといふ名にして下

大橋 三条五條乃より也  
大岡秀吉も建のい

増田右場門射を  
一条通り川ふ橋也

庚橋 中居寺に津藏貴下  
りありあり文三善清切

都くてもむあり成なる  
一とていふ名のほりこ

かく華礼くみまり橋  
じらひといふのりあり

清の獲生しうらけ  
ありとていふ橋の名と



後月橋

磯城大井川に後世  
子大橋ありといふ

石より世此月をこに一向をせし  
いしゆきま出石垣とて多廻國  
昨の地ありとあるを後と月足  
のやうくとも也

後様橋

清洲川にありてせし  
くあり

秋後橋

磯城天龍寺法界  
門にありて西の法師

通天橋

相成れ諸答よりして可なり  
付し下乃今よりあり

河内橋

東福寺乃内也けし下  
紅雲のりあり

安法橋

泉涌寺乃入口の  
くありありあり

燭橋

より此陵墓のみありあり  
くありありあり

白川橋

右日本三町あり  
ありありあり

多々橋

三索大なり此白川  
れ流よりありあり

小橋

東寺南乃出口山  
傍あり道あり

名石

乃世小慈田ありあり

新雲石

新雲石乃同堂あり  
ありありあり

慈漢石

智恩院あり  
慈法和ありあり

たまたまとあり

誦經石

山科牛尾は教の  
ありじつに真如高

此石乃上はく短と誦しあり  
るや俗よりいふことし

藤戸石

醍醐三貴院の庭  
あり

鏡石

一条通わり川あり入  
二所あり一は下あり

刀石よりくり石ありしと云  
矢の言を禁裏へもさゆ

糸慶石

七条のうき水菜師の内  
けふいあり

ありし年の大洪水  
ありして三糸の寺断并をさ

此町と云るは  
此町と云るは

有祥石

廣津の池乃水の邊  
あり

淨弟子歡賢僧の所  
あり

却禪石

海乃西之尻山あり  
あり

ありし年  
あり

有禪石

粟田は神明あり山  
あり

説法石

深草山真塔寺の  
あり

上曼乃弟子目像説法あり  
あり

虎石

根谷日蓮宗の  
あり

柳多場通押小浜下二町三區  
と大岡兵吉と伏見乃賦引  
とりのあひひしとを

青目石

清水と地と権現の  
本ありけること  
此の場居るるるわきをそ目  
とぬきとてあめとては  
ら通してはあつては古史  
由緒の事にいそを

鳩石

西より八通二条下  
二町同いり敷を  
嗣云乃大敷とてを場院の所  
時よりぬきとて化馬禁中  
とていひとてあつては  
体とてとそ俗に鳩石と  
いふと云

鏡の石

依屋川のありけ居る  
紀貫之ありける

のふらうま髪やかしくん  
月乃のいどと物とて白き  
とていひと此石乃と並

下馬石

下馬石ひうの八二  
町をとりもけり  
院とて寺乃采多り  
皇乃所車行とてあつては  
てとまりぬきとてあつては  
とていひとてあつては  
下とてあひひけること  
まふゆとてあつては

歌石

歌石  
ありけ下馬石の  
起ちて下かたりけり  
とていひとてあつては  
ありけとてあつては

アノ時終ははるけくしうんた  
鞍馬正谷  
コノ丸世くく石を  
コノ又山矢背れと道  
りくに弁まうせくはる

岩木

西山大東山あり  
西の松  
あけほ師もは  
松ありと又東山  
はと西の松も  
一今方こそ

墨澤松

深草北里墨澤  
の内ろあり  
上野墨澤の松  
松ありと又東山  
小松松  
の多し

ありと内墨澤  
甲納と成範師乃娘  
佐西の練高金院乃  
乃人ありと清盛  
あくと松ありと  
とと松ありと

獨結松

東寺御教堂乃  
いふ弘法大師  
青松寺より松あり  
ありと松ありと  
ありと松ありと  
ありと松ありと  
ありと松ありと

擔掛松

徳藏殿也堂乃  
直なるの天中  
一河及幼乃あり  
一と松ありと

ねりりかひのりしるちて

紫雲松 西山不生野まのち

根一本に十本云々

ありは松と人減後十七年安

貞二年正月廿四日正午より

所遺骸と兼毗の付け

くひ兼雲たふひまらるる也

敷向松 中野所堂乃茶

初室乃朝日友相也

此松は即敷向とく仲傳とゆへ

ゆるとそ又の流くは松と并

慶長とととにのりなり

御入カ松 四條通いなるまのみ

竹や町人家乃裏也

いふ一丸帛判友は松り太刀掛

とささふふいふくも付くそ乃

流りりり川乃所は道隣境

内たさる所鋭乃まらるる今

梅也は花はまの室かろわあ

花し海文くまふ井かまらるる

新瑞松 筑識ニなる院乃内

定家郷ふまはま

ものともあしとるやまれこ

この松をあまてひうま

鶯宿梅 京極通其のうらト

下誠心院の内和泉

式部壇基乃のりの梅也

中宅天松 彦侍乃池のひらひ

ふれあるとる乃景

乃まらるる

子貫松 法者小路通に東西

母や町とら文と

あし夫乃のまら所なり

とる

とる

欽白掠 海乃小七野社神木  
の古木あり

七本竹 暖誠川とて遊乃  
は葉竹也根一本あり

東七本あり

馬鞍松 宇治

四派松 妙心寺法堂の本

光の松 西山粟生光の寺

石塚

將軍塚 海東山長樂山の上  
とまり桓武天皇系

甲冑とて世に西向の埋の部  
の守護神と致さる天下怪

穴乃すあらんそかかろはけ  
塚 齋動と云

麻洞塚 清水寺鐘樓堂傍に在  
田村おきい山形ゆい

漱出つ三まふい佛乃三發起  
多し麻と此下とて塚とあり

耳塚 大佛あり是也大岡寺告  
云羽野人の耳と云あり

三條かうと北瑞泉寺の

畜生塚 あり(西)葉乃園白衣台  
をまき(女)身を建飛科乃る

金輪塚 塚町通むる上町とい  
あり(打)娘や三女あり

鬼をきかりてとてとれはもつら  
た三降伏口とてとて天也

夕顔塚 さいの町通三下町  
あり(光)保氏と云

あるまじきなふ又東ありのあり

銅鑪塚 あいの所通、二宮六文余

甲塚 三町下島の所也

不死塚 あはれ宿、つるまは西の事也

四ツ塚 三町下島の所也

あはれ宿、つるまは西の事也

あはれ宿、つるまは西の事也

あはれ宿、つるまは西の事也

あはれ宿、つるまは西の事也

あはれ宿、つるまは西の事也

あはれ宿、つるまは西の事也

あはれ宿、つるまは西の事也

### 名山

七石山 三塚の西方西也、三里

余京三条通、西出て

このや川、水帷子、はたき、茶、漢、識

まき、二里、寺、中、院、あり、一、寺、あり、

ゆも、是、分、坂、道、平、町、也、試、の、寺、あり、

家、この、川、の、ね、あり、清、泉、川、橋、あり、

あり、史、打、の、権、現、清、泉、あり、一、町、同、境、の、ね、五、丁、目、是、分、三、雄、柳、是、

とゆる。秋のな、木、成、成、あり、是、より、月、の、輪、観、音、堂、より、同、町、

此、跡、あり、是、より、一、町、あり、是、あり、大、岩、六、六、町、同、名、一、町、丹、波、野、山、

の、峰、と、ゆる。〇、下、は、系、系、二、三、町、け、不、り、ま、ま、三、町、あり、也、

比叡山 五、成、の、七、五、成、の、行、行、四、

原、出、松、の、橋、乃、東、山、と、か、と、一、村、お、修、行、寺、の、寺、あり、越、道、あり、

那、山、あり、三、町、に、三、町、と、三、町、出、矣、月、の、里、一、町、の、道、と、三、町、

と、三、町、の、月、の、里、一、町、の、道、と、三、町、い、山、の、名、大、比、叡、大、山、獄、林、の、寺、が、修、行、の、寺、あり、我、立、松、あり、

三、小、は、叡、八、西、塔、横、川、の、寺、間、に、八、幡、山、三、塚、の、末、申、は、田、り、一、町、

寺、口、より、南、出、鳥、羽、横、大、河、より、定、ま、る、は、一、町、一、里、也、け、

山男山と鳩のふくし云

**岩倉山** 林の小西よりありの程  
四里余也室町の以町

清美はこりりとなん後一切つて万  
乗降車坂よかぶる今又通か  
山すく小万乗降へつる道あり  
そけりり曲の坂を越て而る  
相くこふ出る

**鞍馬山** 此山林の小ありて然程  
三里也町通出たて

左不(切)り市東村ありんふ  
更出る又室町通より又又  
危外道とくふ市廬へ出る也  
鞍馬山下向三俣こか古へ出貴  
布被出る道あり俣正が古  
より一俣ひの石む多あり  
東山麓の古のよと  
毎年七月十ウの辰  
大文字の火はれしも

**雄山** 海乃西水ありあま山  
のちひの家のわん

のり三里余あり梅尾は尾尾は  
直隣也紅毛のくふあり候  
孫文一真のく山あり

**岩倉山** 海乃西水ありあま山  
のちひの家のわん

れ山よひはまり候名あり東乃  
岩倉は白川北東南福もとのと  
かり水の岩倉あり松の海  
くろ又又北東水西入る  
くくくくくくくくくくくくく  
圃よ有る

**晴林山** 海乃西水ありあま山  
のちひの家のわん

妻林はくく山屋に越る  
あまらくありき

**麻呂山** あまらくありき  
後高尾山あり

てあまらくありき



少のまろみひりせ山

衣笠山 俗に西にむすれ西也衣笠内大尾の旧跡ありて

春日の末社なるのまはは行はる引

栗田山 栗田の東に飯よらわかし

禪師より花頂院のありと云

花山 東山清水なるか牛田ありて通廻乃河辺也山科

乃内三渡山と云有衣山の山

笠丸山 醍醐山の南末幡の東に大山なり在る方方

ふ雨少く霧ももくも

小楯山 俗の西山大原郡の内にあり東より西なり

道也まき田の神社あり

尻山 俗の西に尾の小は輪のうらうの山と云ふ山のみ戸部郡の所なり又西なり

龜尾山 龜尾の山と云ふ山にありて今にあり

船の尾れ山の根と云ふておはる山乃白玉千代の敷り

のそつ山の南につき

丸山 丸山の南に白川村ありと勝軍地なる

大内山 俗の西に仁和寺の山と云ふ山也つてみむ山と

てあり衣笠山内大尾の山なり

なる山なりわが山やいふ山

氷室山 俗の西に清水の山あり

山にありてあり

小山 現在に成す衣笠の山なり

山にあり

山にあり

神山 則加久義也

神山 世俗にみよき山と云  
か久義かたりむえん

佐山 ありて夫月乃里也  
このありて余一りの山  
なりておちて山一り未

神山中山 清水山の南なり清水  
寺乃上り山也  
申の方勢で帝王乃まり山  
と一説也云々内裏山也

多於山 是と清水の南西也  
あきか今ころ墓也

秋山 小ね谷久に古は山はき也  
此山南を根の里の東  
にありて山なり

森山 都一り南本は龍  
とありて山道なり

小倉山 暖蔵ニも院乃り  
北の山なり定常山也

明月山 宇治真を寺の  
る此山の山なり新古  
とて山歸家ニ林を山字は川  
雲をこめて雨も山なり

名川

加久義川 加久義河社の山  
ありて川也羽川と云

加久義川 ありて車坂乃林下り山  
ありて山也川也

加久義川 則加久義川也長明  
ありて山也川也

清秋川 此山乃林下り山  
ありて山也川也

清浄河

下坂宮社の東に  
水とち清水と云ふ井也  
と云ふ社井垣あり北川と云

大井川

水と云ふ清浄河あり  
と云ふ社井垣あり北川と云  
水と云ふ清浄河あり  
と云ふ社井垣あり北川と云

鳴鶴川

仁和寺の奥に  
小河あり

紙巻川

中野・西平野と云ふ  
俗に云ふ川と云

中川

河原の南と云ふ  
俗に云ふ川と云

芥川

嵯峨天宮寺の南に  
ありと云ふ川也又  
ありと云ふ川也又

白川

此河を移すと出川と云  
十八町也下町と云

あし柄川

下嵯峨丸太町東入に  
ありと云ふ川也又

のうけをさす

宇治川 京より西に方三里  
水と二道は川の海よ

りからなるおらして、未だ宇治川へ  
ある川がわがなるまじく橋を  
たかふよりけさるり山吹乃徳橋  
乃徳橋のむつ鳥の鳴る日よ  
くも下あり、入河室より二条  
宇治と未だ乃中川也

淀川 京より未申れ方三連  
か久成川や宇治川伏

見より淀川よりあふき又未申川  
か川二つあ合て未だはあ  
伏見と宇治との中なる  
は田川 よあり新恒のあ

河田川 河田川は白糸なり如く一若き  
えんて美世やるん

泉川 都より南なる泉川  
道ありて未だはあ

木津川 川を功申と未だは  
里とれ間よりあふ

玉川 河川なり未だは川より南に  
京よりあふ川道未  
よはぎきなり法園

梅津川 河乃西に尾より京也  
舟はありあり恵の法  
師のあふ梅津川ともしは橋のあ乃

無火の屋のあふ川ともしは橋のあ乃  
梅津川 西河より七条通の  
あかり

貴布祢川 京の西と中間十町  
よりあふ川ともしは橋のあ乃

水とくく川ともしは橋のあ乃  
水とくく川ともしは橋のあ乃

堀川 曲の川は西に尾の  
京なり

水よりわらわめてたれかあつたり  
二つひいりめりわりの水

美濃川

今更なるも若の岸より  
あつたり川なり

由良川

さぶら宮寺の西の  
の川なり

檜川

本橋の里より  
ゆく道なり後水あり

林のくわを越る四方の川  
しらりては檜川なり

山家

鷹の嶺

はのす今更の東竹より  
より小川下なる

光収乃山あり大窪菴と云  
神圃の玄沢菜園乃山今更なり  
白雲の形なり

阿波陀の峯

名能神の木の方あり  
さりとて阿波陀の峯なり

大虫嶺

あつたり山なり  
小山よりなり里也  
より延経師 毘沙門院  
と誦して大蛇と伝へし  
すてり下なる

了善峯

西山より山乃内之西園  
さりとて了善の峯なり

此外就ちの嶺鳩のさり  
いはれしと山の嶺なり

谷

康古

西意宝山の麓なり  
後寛修の山なり  
さして平判の康古丹波の  
さりとて平家退治の定なり

徳正峯

鞍馬山の奥西の  
不動明王の地なり  
て丹波の長法殿の徳正なり

大岩

もろ山乃南あり親  
窟より人の跡を打下の  
岩を并津墓下ありいふ一石を  
乃名ふかり

霞岩

涼草かり

黒岩

比叡山西塔換川の平  
間かりは能く人の所  
住たり今此處赤らりてと云  
くうごんといふ

狼岩

萩森より人はいかふ  
うらかり

長岩

比叡山乃東小女余町  
乃間かり花園早産  
かきとらういふ是は修之文の交  
見は海しめ是れ八幡まらりて  
去る岩よりありいふかり

神岩

系より山陰(か)い  
くらかりひらふれ明  
神下此西東より二里かり

泉岩

小山の岩あり内也

小松岩

本佛より滑岩ありた  
ゆい方より大岩の南の岩

滑岩

大佛より大権あり在  
東の流北南昔羽船の傍より

朗詠岩

はるまき通ありも下りともふた  
いふ山乃水の方より  
系大蛇を云はれ神明  
詠集よりいふかり

坂

雨音坂

比叡山西坂なり近道

目降坂

衣田山之東の林原かり  
いふ目降定まると云

長坂

比叡山よりいふ換の  
境かり

色刀坂

廣津の池のほとり

車坂

京より右衛門内(のり)

三年坂

東山清水の麓也

瓶坂

山味之世内おり人丸

登坂

乃方三白もの登坂

是

並の里

京より一里なり也仁孝

八極里

小山を若乃久れ山と

船里

伊予舟大津の傍也

油地末

吉田山まも回乃社

市奥

中津經寺のわく

勝定院の御代

西の目

里

桂川乃西  
栗田口山のふたりの

山階里

尋乃名也西田に  
戸相取(中)の

四のまへあり  
三条右大臣の  
まへあり

深草里

東のり辰三  
の山に後あり

歸赤のり  
のり

伏見里

伏見の東也  
のり

木幡里

伏見の東也  
のり

紫雲里

西山栗田山  
のり

根井里

小山根井乃  
のり

ひばの氷の  
のり

行住里

西山栗田山  
のり

小倉里

伏見の東也  
のり

丸生里

麻生乃  
のり



八咫里

東上り廿五里の方なる  
野上りありおまきり京

より三里止は下より五本と云ふの  
と對しと云ふは金風堂あり

名木

京より二里あり竹田より  
は三里あり竹田より

後にも羽院河を渡りし中を井くし  
唐の石門二月に建てても羽田の  
里より五里あり

久我里

山崎の西止

森

多良社

山の南吉澤院の下に大  
岡未の古なる所麻床の

首金ふけ不通なるひんをせり  
なごかきでよりそは精拂ひた  
まつりごと

赤木林

上野原を社に傳へ  
野の明かき

行巻林

四ノ森門より山の方か  
しは巻かき方三町あり

かまつはくは行巻の森の二里よ  
きらやわら色ま

檜垣森

白川のわたりてのり  
檜垣の法くわ

浮田森

庭乃の橋のゆえありま  
のよりよりしん気さ

かろははさそや屋かんありま  
の浮田のよりしん気さ

太正森

あよりあり又山上市

名木

松尾とあり山の下の  
間より傍拾運る良木

よりしてよりよりしん気さ  
の相の

孫東師社

横太政の西あり後

水師家。かしても神や志智人  
おかししぬ身もくらの森のちい  
くそつり  
京より大和へゆく通物  
時、西よりありたてま

坂川天文長、つれまゝにひきまゝ  
まの葉もくらの森の柱はくま  
山崎乃西也、聖天宮を日  
神南浦社 兩社并しれまゝ

柏社  
まのちい  
は葉もくらの森あり

大倉森  
加美彦(ゆ)道のと都  
のりくま三通まこれ

友森  
森のまらかり  
休草れ南乃方七

大標森  
宇治こりの中あり也  
室戸よりあり

井佳本板  
土生乃東のくも也

聖護院森  
賀茂川乃東の条  
乃おなりはふくも

紅森  
下里乃森なり

野

内野  
小野右道乃場乃南  
ゆとらかり

小野  
玉條乃成まありて  
天海まこれ神あり

紫野  
大徳寺乃大右也

上野  
今まれおあり

秋野  
上野、板かり又い人  
くろしゆまこれ秋の葉

平野  
小野 西かり

蓮卷板  
板巻の南へく西三つあり  
野には内三葉もあり

右七野也

拍野 千本新造堂の地也

ト野 紫野日下又紫野  
紫野乃千本氏の地也

あかひのこは紫野のト野也  
やまのふんやまの袖也

比野 拍野成まのさき  
今も昌なり千本の

小野 へえ乃山の西坂也  
小野より今も二つあり

一はねの湯乃ありより南の山  
強きと云ふニハ小野九歸とて  
小野八九乃あり高野と  
是小野の東の方なる地也  
云々亦よあり川と云ふ能川  
と云ふ神と云ふ小野畑と  
名付は下は小野橋あり

今小野畑も云ふ係也

身乃大乃れ通ひあひいふ不  
と月より今紫集云々乃と

ういひて雲のたよ小野  
里人をこりりし

美豆野 従北南の方也  
津板と云ふ

定乃事なり  
朝日新さく山吹うさつ

ゆさうのふあひの袖 紫野

若国小野 定乃後乃小野の山  
ほ田の森のわたり

つし板も相津也  
あかたの木の末末なり

栗栖野 伏見の赤瓦の地也

火野 山階の山花の地也

拍野 京よりゆき道  
名付は下は小野畑

新火編りあり

音こきく拍中悔りれんつらり  
となりくありかありありあり

大原野

お三里中伸るのあり  
春日四石と初清り  
勝の清水あり古今業平か  
大原や小堀乃ふとくかきとて  
林代乃くくとおひ出らめ

多都野

山の都あり

市廣野

日の星れあきと天  
白く陵あり

清水野

今小清水もき出るあり

原

長島原

智恩院の上あり長原  
より慈法和為我  
松と雨れ流るひまふつと原に川に

市原

海乃小くさる地の十乃  
在なりり空三小地  
小町墓ありは不新と本と地

大原

都より三里八あり  
一アしむなり  
大原よりおれり西

新原

東とまきとて成あり  
宿とめくかきとつれとくや  
ふらりかきとあきとけ居と  
めりり新原とてや

鹿原

市より大和へ新道作  
のま梅りつとまふこの  
あり古今集に都出てきふのり  
いつと川に凡とむる衣をふとんを  
綴珠系  
本は川ちか續古今  
お家つと月のてまか  
くは秋まふるととわあま  
まふる病か

撞原

あつこ山の中程也若原  
ぬ忠ふかき名山也

こころ原より雪はゆるりたつこ  
人乃跡きこしと那ー

櫻原

七条通の西丹波一  
ゆる道なり

梅の原

松尾乃赤かりあふひ  
かひをなす梅乃赤

いぬたふしとみえり香きす

三尾

雄松尾梅尾

ついで都の  
乾よあつて

あし思れふつきかり雄ハ松  
尾乃南梅尾ハ雄乃西あり

松尾ハ二百五十枚持あふ侍院也

牛尾

山科迄ふより三四丁  
辰巳乃方より山村と

えんをとり女余町より牛尾  
尾ハゆる水もの奥尻なり

水尾

美津トありここのり  
清水夫ととる尾風帯

西尾

ゆるりゆるり  
清水乃山のたれ

松尾

母有さつり  
都の西紫山乃里松

と松の尾山ぬけぬこちとそい  
ゆるりゆるり

岩尾

ゆるりゆるり  
ゆるりゆるり

草尾

ゆるりゆるり  
山入原乃里かり

湯

松湯

実原ハ七条通より湯  
七月十六日湯屋の湯

恩湯

三ノ条の川  
万葉集ニ湯乃曲

此の道と人あつてもいふわりても  
さうして通ふ人

山崎  
東へ末田の方三里余  
あり西國(北陸)の

小崎  
宇治の口備古今  
在るよき後あつて

小崎の崎乃山吹マサシ  
人のかき成る人

### 嶋

木の嶋  
かきひ乃島の島也  
式方水とかく舟

かきひ乃嶋  
れかきめりうらん

松嶋  
宇治平野院乃小の  
方けりむむい乃

川をまをりりり今ハ  
田をまをりり後系道  
限もかき月乃光り  
布マこき松乃志人

楊枝嶋  
使あり

### 田

竹田  
も羽の東の口  
東田院乃南

まわり乃家錦  
竹田乃東の庄  
二田  
も羽乃也

吉田  
東ノ東小  
拾遺三平

火代  
山階の内  
火代

條の隈  
火代

千代古道  
火代

千代古道  
道あり

陸まらねおらるの舌乃ぬたは是し  
少くも新川よりさかほりん

山吹の嵐 宇治の名正しくして  
こゝには

ツツくわに西園寺入乃相小を  
あふらるる嵐乃嵐乃りまはれ  
揮ころりや治乃川終

依江ゆき 赤乃西小橋乃乃甚  
ある旧用いち先後

長乃分いふふ人乃之ゆき乃  
水入人小橋入山よりさかふつ

水乃嵐 山終より西乃方より  
古今を並ぶか此乃

あしと出ていそをさかふり  
川下小やいふくあまもの

井乃 山珠乃井乃の玉水  
とつげさるるこ糸

よりあふゆき道かり橋法先  
は不仕たまひゆき井乃の  
左大臣とつり

三木橋

宇治橋 山珠乃治川流後

皮大橋 山珠本流川流後

勢田橋 江列湖(後)

五岳

如意宝山 山城藤谷上  
水名 山城石鼻

比叡山 山城石鼻  
王珠王貴 高千穂山日而園

金剛宝山 大和園

五三昧

阿蘇山 丹波山

西院 竹田イヤ山

七瀬

川合 朱彦前三条南  
耳敏川 志

東流 大井川 西流

石秋

# 八景

終學院八景

村路晴光 修竹吹簫 聖岫幽雅  
松濤之韻 蒹葭秋月 年田三畝  
隙望翠雨 獻筆書名

塔市市區山八景

明月嶺 折松  
北崗翠峯 流六溪  
枕流洞 翠多潭  
流密科

洛西溪八景

洛西翠峯 翠石綠柑 廣溪秋月  
小舍紅楓 仲夏松花 名辰積雪  
洪川水石 清流吹簫

稻花山八景

三夏春眺 信橋秋月 南青曉暎  
美野晚霞 雷巖暮雨 瀑布餘音

東山泉涌寺八景

東山泉涌寺 西山霽雪  
名辰堆石 鴨川夕流 夕雲明月  
懸村淡烟 春山落日 白雲出洋  
音和雨 眾利如雨

# 十景

洛陽十景

清水佛欄 知恩淨土 發之古樹  
蒲廟白雲 東山秋月 天台晴雪  
柳岩群鳥 名石亭子 山階夕照  
香中古松

東山十景

天台積雪 女臺秋月 松葉之塔  
瑞雲吹簫 名舍幽雅 既明孤寺  
花頂積翠 祇園吹簫 清水白雲  
慈林松倚

洛水十景

洛水十景



古崖懸泉 春巖開苑 音羽異臺  
宮壑殊清 洛陽万户 鴨川一帶  
東郊烟雨 西望七峽 名嶺晴石  
慈真草堂諸

紫雲山十景  
台嶽翠巖 龍巖躡  
鴨森夏雨 柳谷春月 石川急流  
松林翠瓦 雲霞暖煙 徑林幽澗  
白川推飲

愛山石十景  
水頂層樓 洛城七段 松山寒  
高雄毋机 觀峯晴市 桂川台流  
清溪亭月 度竹書雨 水尾釣烟  
月輪松濤

仰學子院沖苑十景  
苦花樹 秀月觀 藏六庵  
寧曲橋 洗詩臺 隣亭  
窮邃軒 止齋 浴沙池

乃松鳴  
醜湖十景

皇峯紅梁 炭壑梅 本美演邊  
文岳傑觀 西嶽秋月 真名夜雨  
南嶽松名 橫峯幽壑 石圃寒巖  
寂谷觀花

十境

南禪寺十境

幽宮洞 独秀峰 羊角峯  
峯於池 品多松堂 鑽三亭  
蘿月菴 綾尸廟 愈好亭  
其管叢林

天龍寺十境

普明閣 絕唱谿 靈座廟  
曹溪池 拈花巖 度月橋  
三級巖 万松洞 沙門亭  
慈頂塔

相國寺十境

般舟林 妙善巖 不通閣

法音橋 牙皇聖殿 沙崗水

四德池 天界橋 護國廟

祝聖堂

東福寺十境

妙雲橋 選佛場 潮音堂

楠檀林 思遠地 成範文

通天橋 千松林 耳堂

洗玉壩

萬壽寺十境

大地起樹 大雄聖殿 三山神廟

千松客位 枯木回春 新花更雨

東郭 南院 翠臺

澆沼

建仁寺十境

慈觀橋 望閣橋 大悟堂

群玉林 八定塔 樂林廟

斗蓋燈 清水山 才五橋

鴨川水

大德寺十境

建三峰 陽石郭 看雲郭

金剛郭 古石松 起沙郭

官池 梅橋 雲門庵

明月橋

妙心寺十境

萬歲山 枯華室 度音橋

百花洞 定夕川 旧藉田

南華塔 齊門社 鷄足尻

高安灘

十二景

塔水冰室十二境 自寬硤 攀月巖 七宮溪

落猿岩 眼雲峯 轉依山

曼珠灘 服涼坂 嘉海橋

浴月沼 羨水古跡 凌隄山吳

深林十二境

不<sub>可</sub>衣松 悲田梅 黃菊瀑

通<sub>天</sub>天橋 外<sub>訪</sub>訪廊 礙<sub>下</sub>下榻

烟<sub>漏</sub>漏亭 礙<sub>野</sub>野橋 白蓮池

幽<sub>樵</sub>樵蹊 濯<sub>錦</sub>錦泉 山<sub>泉</sub>泉龍

八幡十二景

德<sub>山</sub>山天社 洛<sub>成</sub>成宮院 石<sub>水</sub>水清涼

疏<sub>湖</sub>湖齊月 天<sub>台</sub>台積常 徒<sub>橋</sub>橋斜照

孤<sub>川</sub>川征帆 伏<sub>氏</sub>氏石 歎<sub>波</sub>波滄浪

山<sub>崎</sub>崎曉暉 溪<sub>漱</sub>漱蒼廟 釣<sub>山</sub>山晴汎

心法十二景

春<sub>冠</sub>冠醱醱 清<sub>滿</sub>滿螢火 三<sub>室</sub>室石瓶

長<sub>橋</sub>橋曉石 初<sub>日</sub>日露暉 薄<sub>暮</sub>暮朱丹

橋<sub>水</sub>水社 灼<sub>數</sub>數秋月 扇<sub>芝</sub>芝孤松

枝<sub>清</sub>清曝布 浮<sub>船</sub>船古祠 真<sub>亭</sub>亭曝澤

京羽二字四之卷終

